

## ナシ新品種「瑞月（愛知梨3号）」の販売特性を説明

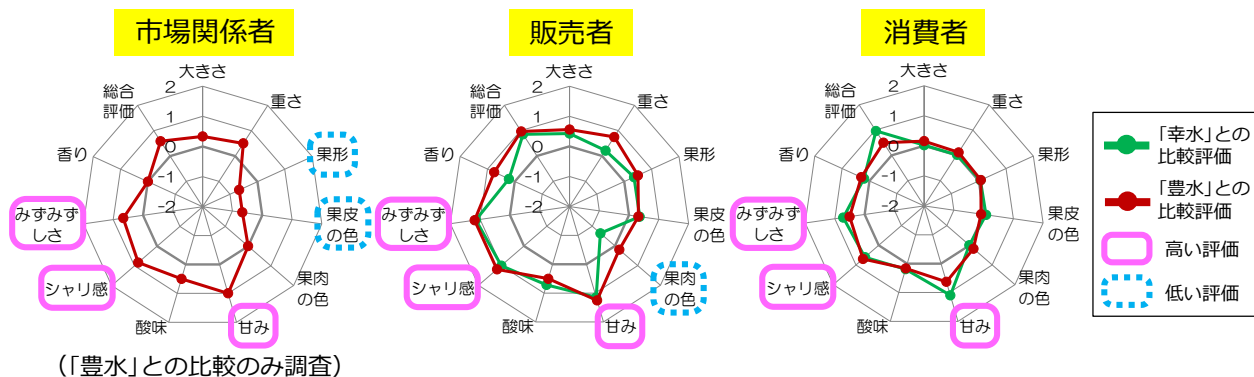
－ 品種特性に対応した有利販売が期待できます －

## 開発の背景・ニーズ

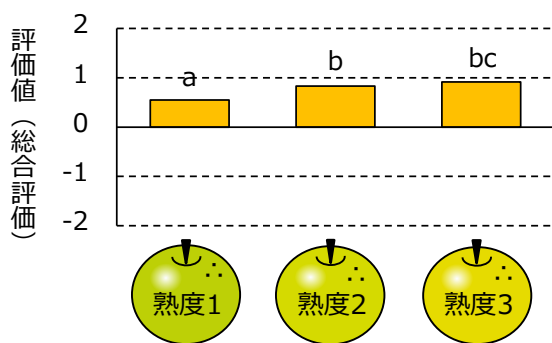
本県と農研機構が共同開発した早生で良食味なナシ新品種「瑞月」の効果的な普及と有利販売を進めるために、流通・販売・消費段階における「瑞月」の評価を聞き取り、販売面での品種特性を解明しました。

## 成果の内容

- 「幸水」「豊水」と比較して、「甘み・シャリ感・みずみずしさ」がいずれも高く評価されました。「果皮の色・かたち・果肉の色」は一部で低く評価されました。
- 果皮色での果実の熟度判断基準1～3（「瑞月」専用）で「瑞月」を収穫し、食味評価した結果は、いずれも「普通」以上の高い評価でした。また、着色が進んだ2と3は、着色が最も進んでいない1と比較して評価が高くなりました。
- 収穫物が消費者に直接届く農産物直売所等の販売では食味を重視して熟度2～3程度の果実を、日持ちが重視される市場には熟度1程度の果実を出荷するなど、販売先に対応した果実を出荷できることが明らかになりました。



## 流通・販売・消費段階における「瑞月」の食味・外観評価



「瑞月」の外観

## 「瑞月」の熟度別果実に対する消費者の食味評価

- ・果皮色での果実の熟度判断基準1～3（「瑞月」専用）で収穫
- ・異なる英小文字は5%水準で有意差あり（Steel-Dwass法）

注 上段及び下段左の図は5段階評価（2：とても良い、1：良い、0：普通、-1：悪い、-2：とても悪い）

## 愛知県農業への貢献

①甘み・シャリ感・みずみずしさが優れることのPR、②外観が「幸水」や「豊水」と異なることの周知、③果皮の着色段階を基準とした適期収穫の徹底、の取り組みを行うことで「瑞月」の特性が理解され、信頼性が高まり、有利販売につながると考えられます。

（本品種は、令和元年10月1日付けで品種登録出願が公表されました。）